

<p>書名 項目</p>	<h1>新しい保健体育</h1>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                  ○キーワードをゴシック体で示し、基礎的・基本的な知識としてわかりやすくなっており、各章末の「学習のまとめ」には、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」が用意され、知識の習得状況を確認できるように工夫されている。                  ○保健の技能に関する実習ページでは、豊富なイラストや写真を用いて手順がわかりやすく示されている。さらに、技能を映像で確認できるデジタルコンテンツ（D マークコンテンツ）が用意され、技能を習得しやすい工夫がされている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                  ○各単元の活動「見つける」「課題の解決（発問・本文・資料・活用する）」「広げる」ではそれぞれのステップに応じて発問が設定され、課題の合理的な解決の中で思考力、判断力を身につけるとともに、表現力を育成する工夫がされている。                  ○「活用する」では、他者に質問したり他者と話し合ったりする活動が設定され、活動を通して思考を深める工夫がされている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                  ○巻頭に「教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が掲載され、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4つのステップで理解し、保健体育の学習に主体的に取り組めるように工夫されている。                  ○各単元の「広げる」や章末の「日常生活に生かそう」には、学習したことを生活に当てはめて考える活動が設けられており、学びへの意欲を喚起するように工夫されている。</p> <p><b>&lt;生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                  ○学習で身についた資質・能力を活用するよう、保健分野各単元の4つのステップ「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の流れをわかりやすくする工夫がされている。                  ○体育編では、様々な年齢の人たちが、様々な形でスポーツに関わり楽しむ姿が掲載されており、楽しさや喜びを味わう意欲が湧くように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○単元の導入に、自らの生活や経験を振り返りながら考える活動を行いやすいように写真やイラストが大きく掲載されている工夫が見られる。                  ○学習を深め、広げる資料が口絵や章末資料に掲載する工夫が見られる。                  ○学習したことがどのように関連しているのか、別ページや他教科での関連がどのようにあるのか学習内容を示す工夫が見られる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○挿絵は学習事項を的確に表現し、キャラクターの言葉等で学習を補足する工夫があり、生徒にとって親しみやすいもの、学習する際の手助けとなっている。                  ○キーワードやポイントのマークが見やすいもので示され、学習と関連するページを明示し、語句の解説欄を設けるなどの工夫が見られる。                  ○キーワードをゴシック体で示し、巻末に「キーワードの解説」を設ける工夫が見られる。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識を本文で習得したのち、各章末のまとめで知識の習得状況を確認できるよう配慮されている。                  ○課題解決のための発問が多数用意され、課題を合理的に解決しようと思考・判断する場を設け、その力を表現したり、活用できる構成が各単元で設定されている。                  ○各単元を授業の流れとして4ステップでわかりやすく示し、その流れに沿って学習を進めることで主体的・対話的な学びが実践できる構成となっている。</p>	

書名 項目	<h1>中学校保健体育</h1>	4 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大日本</span>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示され、学習のキーワードが太字で記され、内容の確実な習得が図れるよう工夫されている。</li> <li>○各単元で本文・資料がページ毎に分類され、学習内容が分かりやすく明示され、生徒が学習の流れを理解し、見通しを持って学習が進められるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題発見の「つかもう」、解決する活動「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」、活動を深める「活用して深めよう」と総合的に取り組める工夫がされている。</li> <li>○各章末の「学びを活かそう」では、その各章で学習したことをより深く理解し、生活に活かすための具体的な課題が設定されているなど工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「つかもう」では生徒の興味・関心を高めるために、生活の中で身近な題材を取り入れ、主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○「話し合ってみよう」「やってみよう」では学習の中心となる活動となり、資料を読み解く力や、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の章扉では、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるよう、関連する校種の学習内容が示され、意欲的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○巻頭の魅力ある写真や現代的なテーマの口絵、世界で活躍するアスリートや研究者のメッセージ等、スポーツの魅力や運動・健康への興味・関心を高めるよう工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カラーで見やすいイラストや写真は、学習意欲を喚起し、興味・関心を引き、グラフや表は、視覚的に捉えやすいよう工夫されている。</li> <li>○各章末では重要語句をまとめた「学習のまとめ」が設けられ、ウェブサイトを活用して「まとめの問題」で学んだことが、確認できるよう工夫されている。</li> <li>○「ミニ知識」「発展」の読み物や資料で、個に応じて学習内容を深められることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文等にUDフォントが使用され、見やすいものとなっている。</li> <li>○すべての小単元で本文を左、資料を右に分け、読みやすい位置での改行と表現になっている。</li> <li>○重要な語句に関しては各章末にまとめられ、復習しやすく工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開き 2 ページに本文と資料が明確に分かれ、データやイラストがバランス良く配置され、学習意欲の喚起や興味・関心を引くような構成となっている。</li> <li>○章扉には、課題と学習の流れ、小・中・高の学習内容の系統性が明記されている。</li> <li>○「中学校保健体育WEB」には「まとめの問題」が用意され、「キーワード」を活用して学習内容の振り返り、知識の定着ができる内容となっている。</li> </ul>	

書名  項目	<h1 style="margin: 0;">最新 中学校保健体育</h1>	50 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大修館</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての学習項目の構成を1単位時間、見開き1ページとし、学習に見通しを持ってスムーズに学習できる分量になるよう工夫されている。</li> <li>○覚えておきたい専門用語をキーワードとして挙げ、確認ができると<input checked="" type="checkbox"/>を入れて確認できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な導入活動（振り返ろう、やってみよう、意見を出そう、話しあおう、考えよう）を提示し、学習活動における気づきや思考を促す発問をするように工夫されている。</li> <li>○「体育の窓」「保健の窓」を設け、学習で身に付けた資質・能力をより発展させ、自他の生活に即して、思考・判断・表現する活動が充実するよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生の心に響くものとなるよう、著名な文化人やスポーツ選手、年齢の近い人たちのエピソードやメッセージを掲載し、意欲が高まるよう工夫されている。</li> <li>○東日本大震災で被災した方々の苦難や悲しみを乗り越えて活動を続けている事例をコラム、写真等で紹介し、生活や人生、社会に生かす力を育成できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○口絵などで体育と保健に関連するテーマを掲げ、両分野の関連を図った指導ができるように工夫されている。</li> <li>○東京オリンピック・パラリンピックに着目し、現代社会との関連を可視化できるよう、多くの写真を掲載し、実生活や実社会を見つめる一端になるよう工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育実技や運動部活動に応用できる内容として、中学生のスポーツ障害に関してイラストを用いて、わかりやすく紹介する工夫が見られる。</li> <li>○教科書の随所に「web 保体情報館」があり、そこから関連する情報を入手できるようになっており、調べ学習に役立つ工夫が見られる。</li> <li>○学んだことを生活や社会に生かせる「クローズアップ」という場を設け、更なる学びへの意欲を高める工夫が見られる。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の「この教科書の使い方」で保健体育の学習内容・学び方を明確にし、各章を「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3つのステップで学習の道筋がわかるよう工夫されている。</li> <li>○キーワード以外の語句にも説明が付け加えられており、また他教科との関連があるものをピックアップする工夫が見られる。</li> <li>○親しみやすいキャラクターが本文に出てくる言葉を詳しく解説し、学習に役立つ情報を教えてくれる工夫が見られる。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識および技能を習得する上で学習に見通しを持つ紙面の構成、基礎的・基本的な内容を本文で明瞭かつ簡潔に示している。</li> <li>○導入の仕方が豊富で自分自身の実生活と関連して考える発問、学習した内容を自他の生活に生かす構成となり、思考・判断・表現する活動が充実するよう図られている。</li> <li>○中学生が共感しやすい写真やエピソードが掲載され、今後の人生や生活に生かせるように構成されている。</li> </ul>	

書名  項目	<h1>中学保健体育</h1>	224 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">学 研</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての項目に、「まとめる・深める」または「実習」を設け、その時間で習得した知識をまとめたり、深めたり、活用したりする学習活動ができるように工夫されている。</li> <li>○身につけるべき技能にはマークをし、イラストや写真を多く掲載し、わかりやすく取り組みやすいよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「考える・調べる」では、資料を読み取ったり、事例について探求・分析したり、話し合ったりしながら、課題解決に向かう力を身につけられるよう工夫されている。</li> <li>○「まとめる・深める」では、身につけた知識をもとに、その時間で学習を深めたり、実生活に生かすよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研究課題「探究しようよ！」で、課題の例や学習の進め方を示すことなどによって、課題解決的な学習が展開されるよう工夫されている。</li> <li>○学習内容と現代的な課題や身近な問題をリンクさせるなど、より興味や関心を高め、日常生活での実践に結びつける工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「キーワードで見る保健体育の学習内容」では、学習項目をキーワードでまとめ、「体育編」「保健編」以外にも、体育実技や他教科と関連付け、知識や情報を活用しながらより深い学びに繋げる工夫がされている。</li> <li>○スポーツへの多様な関わり方や楽しみ方、心身へもたらされる影響について取り上げ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各項目において、豊富な実例や写真が掲載されており、デジタル教材が活用できるようになっているなど、主体的に学習ができるように工夫されている。</li> <li>○巻頭に「さまざまな学習方法」を設け、学習内容や課題に応じて、工夫しながら学習が進められるように、事例とともにさまざまな学習方法が紹介されている。</li> <li>○章末に自己評価欄を設けることで、内容理解を助けるとともに、反復的・継続的な学習を行い、学習したことを日常生活に活用することができるようにしている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 単位時間を見開き 2 ページでまとめ、「課題把握」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」の流れで構成されている。</li> <li>○重要な語句は太字や解説欄を設けたり、関連する学習のページが明示されていたりするなど工夫が見られる。</li> <li>○イラストや写真を中心としたレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクターによる説明が多く取り入れられ、学習内容がより理解しやすい工夫がされている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 単位時間の学習の進め方が 4 段階で示され、見通しを持って主体的に学習に向かえるよう工夫がされている。</li> <li>○各章の冒頭には、学習の流れや課題提起が示されており、小・中・高等学校へと学びを深めていくための系統性が明記されている。</li> <li>○豊富な関連資料によって、幅広い知識を習得し、思考力・判断力・表現力の向上に結びつけられるような内容構成となっている。</li> </ul>	